



# ピノッキオ

年齢：6才から／人数：2～6人／時間：約20分

## <セット内容>

赤・青・黄の洋服カード、(リボン・帽子・シャツ・くつ・ズボン) 45枚  
鼻カード、28枚／ピノッキオカード、6枚

## ※ゲームの目的※

ピノッキオはとっても元気な男の子。だけどひとつだけ悪いところがあります。彼はウソをついてしまうのです。ウソをつくたび彼の鼻はどんどん伸びていきます。

今日はピノッキオの洋服の片付けを手伝いましょう。ウソをついて洋服を片付けているのがばれると鼻が伸びてしまいます。洋服を片付け終わったときにピノッキオの鼻が一番短かった人が勝ちです。

## ※ゲームの準備※

それぞれのプレイヤーがピノッキオカードを一枚ずつもらいます。カードはプレイヤーの前に表向けに置きます。洋服のカードはよく混ぜ、各プレイヤーに均等に分けます。余ったカードは化粧箱の中に戻します。それぞれのプレイヤーはカードの内容を見ずに、裏向けにしてテーブルの上に置きます。“長い鼻”のカードもまたテーブルの上に置いて準備完了！

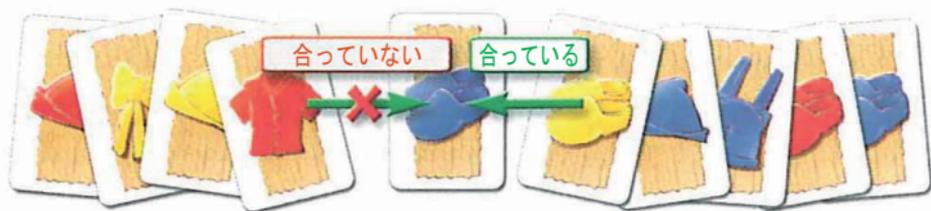
## ※遊び方※

1番年令の低い人から時計回りにゲームを進めます。

### ☆カードの出し方☆

順番にプレイヤーはテーブル中央にカードを裏向けにして積んでいきます。この洋服カードの山はどんどん高く積まれていきます。例えば、プレイヤーが“青い靴”のカードを山に置いたなら、次のプレイヤーは同じ種類のカード(この場合“靴”か、“同じ色の洋服カード”)をテーブル中央に置かなくてははいけません。

プレイヤーが前のカードと合わない洋服のカードを出す場合、その時はウソをつかなくてははいけません。彼は前のカードと合う洋服のアナウンスをし、テーブル中央のカードの山に裏向けに置かなくてははいけません。例えば、“青のズボン”を置いたと主張し、実際は“赤のシャツ”カードを出さなければなりません。



プレイヤーは自分の順番がきたら、まず、一つ前のプレイヤーがウソをついているか、ついていないかを判断しないとはいけません。

### ！ウソだと思ったとき！

“ダウト!(ウソだ!)”と言ってカードをひっくり返します。

#### ーウソだった時ー

ウソをついていたのを確認し、ウソをついたのがばれたプレイヤーは鼻カードを1枚とって自分のピノッキオカードの右隣に置いていかななくてはなりません。

#### ー本当だった時ー

ウソをついていなかったのを確認し、前のプレイヤーを信用できなかったプレイヤーは鼻カードを1枚とり、自分のピノッキオカードの右隣に置かなくてはなりません。



そして次のプレイヤーの順番です。

### ！本当だと思ったとき！

“ノーダウト!(本当だ!)”と言って次の動作に移ります。

自分の山から1枚めくり、他のプレイヤーに見られないように自分だけカードを確認します。次に、前のプレイヤー同様、本当のことを言うか、ウソをつくかして、テーブル中央のカードの山に裏向けにして置いていきます。

本当のことを言ったときは、疑われて次のプレイヤーの鼻が伸びることを願い、ウソをついたときは次のプレイヤーが信じてくれることを願います。こうしてゲームを進めていきます。

## ※ゲーム終了※

最後の洋服カードが出されて、ウソをつく、見破られる、等の動作をしたあとでゲーム終了になります。各プレイヤーは鼻カードの枚数を数え、よりカードの少ないプレイヤーの勝ちです。



販売元 株式会社ブラザー・ジョルダン社